

東北IM連携協議会（TAIM）第16回総会

期日：令和4年7月7日

場所：青森商工会議所 7F研修室

次第

1. 開会

2. 挨拶 東北IM連携協議会代表幹事 庄司 孝一

3. 議長選出

4. 議事

1) 第1号議案

- ・令和3年度事業報告について
- ・令和3年度収支決算報告について

2) 第2号議案

- ・令和4年度事業計画（案）について

3) その他

5. その他

6. 閉会

1) 第1号議案

・令和3年度事業報告

① 東北IM連携協議会総会・オンラインワークショップ in 仙台 (詳細は資料1)

期日：令和3年7月2日(金) 総会、ワークショップ

参加人数：64名(オンライン)

・コロナ感染症を考慮し、オンライン開催とした。

・総会は書面決議とし過半数を超える会員より承諾を得て承認された。

② 東北IM連携協議会ワークショップ in 大船渡 (詳細は資料2)

期日：令和3年12月2日(木) 講演・事例紹介・ワークショップ

3日(金) 視察(㈱いわて銀河農園、さいとう製菓㈱)

会場：岩手県大船渡市 大船渡市文化会館リアスホール

参加人数：リアル65名、オンライン22名(各県IM、関係機関、企業等)

・コロナ感染症を考慮し、懇親会は中止とした。

・アワードについても表彰者中止とした。

③ 各県IMスキルアップ研修への協力

・北東北スキルアップ研修(詳細は資料3)

研修名：青森県インキュベーション・マネージャーネットワーク協議会

令和3年度総会・第1回スキルアップ研修会

期日場所：令和3年8月6日(金) アピオあおもりイベントホール 44名

内容：青森県内創業実績等について(県地域産業課より)

支援事例紹介(認定SA ㈱I.M.S 代表取締役 三上友子氏)

研修名：青森県インキュベーション・マネージャーネットワーク協議会

令和3年度第2回スキルアップ研修会

期日場所：令和4年2月4日(金) 青森市文化観光交流施設 ねぶたの家 ワ・ラッセ

内容：女性起業支援事業について(県所業支援グループ)

IM養成研修受講者報告(4名) ⇒ グループディスカッション

*コロナ感染症拡大により開催中止

・南三県合同研修会(明細は資料4)

研修名：令和3年度南東北三県合同スキルアップ研修

期日場所：令和4年3月11日(金) オンライン開催 35名

内容：花巻市企業連携事例紹介

尾花沢市の連携事例

情報提供

④ ビジネスマッチ東北 2022 春 出展・マッチング協力

期 日 : 令和 4 年 3 月 10 日 (木)

会 場 : 宮城県仙台市 夢メッセみやぎ

参加内容 : マッチング協力

⑤ 幹事会

「第 27 回東北 IM 連携協議会幹事会」

期 日 : 令和 4 年 3 月 24 日 (木)

時 間 : 14:00~

場 所 : (公財) 仙台市産業総合事業団 会議室 A

協議事項 : 1) 東北 IM 連携協議会事業について

・R3 ワークショップ報告 (宮城・岩手) R4 計画 (青森・山形)

・R3 青森県、南三県スキルアップ研修報告及び R4 計画について

・他

2) 情報提供

・起業支援「アシ☆スタ」と広域連携事業について

・東北経済産業局様より

3) その他

⑥ ホームページとメーリングの運営

東北 IM 連携協議会ホームページ運用 : <http://www.taim.jp/>

会員の情報発信や交流のアイテムとして活用中。会員各位の活用やご意見をお待ちします。

登録数 : 136 アドレス

メーリングリストの運用 : 会員 taim02@taim.jp

役員 touhoku-im@taim.jp

⑦ 令和 3 年度女性起業家等支援ネットワーク構築事業への協力

事業概要 : 女性の起業を支援するため、構成機関と女性起業家等支援ネットワークが連携してイベントやセミナーを開催し、これまで手薄だったフェーズ 0. 1. 支援の充実を図ると同時に、女性起業家等支援ネットワークの活動紹介や起業アテンダントとの連携支援を提案し、女性の起業支援に対する理解と普及を実施した。

協力内容 : 連携イベントやセミナー開催協力

- ・福島県 令和 3 年度潜在的女性起業家発掘育成事業起業アテンダント研修 (福島県福島市、令和 3 年 9 月 10 日～11 日)
- ・起業アテンダント×創業支援者マッチング交流会 (福島県福島市、令和 3 年 11 月 26 日)
- ・ココロの準備セミナー (岩手県花巻市、令和 4 年 2 月 24 日、3 月 3 日計 2 回・中止)
- ・経済産業省 女性起業家支援連絡会議 (私の起業応援団) 会員登録および活動の周知

「東北IM連携協議会 総会・オンラインワークショップ」開催報告

感染症拡大を受け、幹事会や関係各位との協議を踏まえ、オンライン形式での総会及びワークショップ（各地の状況報告）を開催しました。総会については、オンラインでは内容説明とし、決議は、書面決議（WWWページ活用）としました。

開催にあたり、東北経済産業局には、配信場所とオンライン会場の費用をご負担いただきました。また、運営には、INTILAQ 東北イノベーションセンターの協力を得ました。

活動中断期間があつての開催で、各地の状況を共有するなどの成果はありました。しかし、交流など、オンライン形式の限界も認識されたと考えます。

記

- | | |
|--------|---|
| 1 事業名 | 「東北IM連携協議会 総会・オンラインワークショップ」
～コロナ禍の活動を考える～ |
| 2 期日 | 令和3年7月2日（金）13：30～16：30（13:10接続開始予定） |
| 3 場所 | オンライン開催（配信会場と参加者の双方向通信） |
| 4 内容 | 講演（コロナ禍でBI/IMを考える JBIA会長 星野敏 氏）
各県の活動報告～コロナ禍の活動状況～ 他 |
| 5 参加者数 | 延べ64名（オンライン） |
| 6 主 催 | 東北IM連携協議会 |
| 7 共 催 | 東北経済産業局、日本ビジネス・インキュベーション協会 ((一社)JBIA) |
| 8 後 援 | （独）中小企業基盤整備機構東北本部、みやぎIM連携協議会、
東北起業女子応援ネットワーク |
| 9 協 力 | INTILAQ 東北イノベーションセンター ((一社)IMPACT Foundation Japan) |

東北IM連携協議会ワークショップ in 大船渡 開催報告

岩手県大船渡市での東日本大震災の振り返りや 10 年の復興状況と今後の産業創造活動を考えるとして開催した。大船渡商工会議所米谷会頭から震災直後の状況、支援活動内容と今後の取り組み内容、JBIA星野会長によるアフターコロナの IM 活動についての講演に続き、大船渡市内創業者 2 社から事例発表後、4 班編成によるグループワークを行った。活発な意見が多く出され、非常に有意義なワークショップとなった。

【開催概要】

日 時	令和 3 年 12 月 2 日（木）～3 日（金）
会 場	大船渡市民文化会館リアスホール
内 容	開会挨拶（庄司代表幹事、東北経産局 武藤部長、大船渡市 戸田市長） 講演（大船渡商工会議所米谷会頭、JBIA 星野会長） 事例発表（いざ大船渡 佐々木代表、三陸とれたて市場 八木社長） グループワーク（4 グループ。モディレーター：加藤幹事、上平幹事、工藤幹事、舟越幹事） 見学会（いわて銀河農園、さいとう製菓）
参 加 者	ワークショップ 87 名（リアル 65 名、リモート 22 名）、見学会 34 名、
主 催	東北 IM 連携協議会
共 催	東北経済産業局、（一社）日本ビジネス・インキュベーション協会（JBIA）、
後 援	（一財）日本立地センター、（独）中小企業基盤整備機構東北本部、岩手県、（公財）いわて産業振興センター、INS コーディネート研究会、大船渡商工会議所、大船渡市

【効果など】

リアル参加者 65 名のうち、29 名が県外からの参加であり、参加者からはリアルワークショップ情報交換の有用性について多くの好感と反響を頂いた。

大船渡地域の震災復興やコロナ過の状況と大船渡市及び商工会議所の取組みについての事例紹介後、JBIA 会長から地域での伴走支援の有用性や効果について紹介が有り、脱震災・脱コロナでの地域産業創造活動について支援者（IM）の増員と更なる活躍についての期待について講演を頂いた。

岩手県内参加機関においては、創業支援の重要性を再認識したとの意見や県中核的支援機関からは県外参加機関の意欲的な取組みに驚き、創業支援への取組み強化に必要性を強く感じたと意見を頂いた。また、県南地域支援機関連絡会議の開催計画についても協力を頂くこととなった。

青森県インキュベーション・マネジャーネットワーク協議会
令和 3 年度事業報告

項目	具体的な内容
総会	<p>開催日：令和 3 年 8 月 6 日（金）15：00～15：15</p> <p>場所：アピオあおもり イベントホール</p> <p>参加者：43名（IM、支援機関、青森県等）</p> <p>議事：令和 2 年度事業報告について 令和 3 年度事業計画（案）について</p>
第 1 回スキルアップ研修会	<p>開催日：令和 3 年 8 月 6 日（金）15：20～17：00</p> <p>場所：アピオあおもり イベントホール</p> <p>参加者：44名（IM、支援機関、青森県等）</p> <p>内容：○県内の創業実績等について（県地域産業課） ○講演 テーマ：「女性の起業の課題と SA としてできること」 講師：株式会社 I.M.S 代表取締役 三上 友子 氏 ○質疑応答・意見交換</p>
第 2 回スキルアップ研修会 (※コロナ感染症感染拡大により開催中止)	<p>開催日：令和 4 年 2 月 4 日（金）15：00～17：00</p> <p>場所：青森市文化観光交流施設 ねぶたの家 ワ・ラッセ 交流学習室（1）～（3）</p> <p>参加者：IM、支援機関、青森県等</p> <p>内容：○県内創業実績等について（地域産業課） ○IM 養成研修受講者報告 ・青森県商工会連合会 小川氏 ・青森県信用保証協会 工藤氏 ・青森県信用保証協会 石村氏 ・青森商工会議所 村田氏 ○グループディスカッション ○グループワーク発表、意見交換、講評</p>

東北IM連携協議会 三県合同研修会実績報告

1. 内容

(1)概要

宮城県、福島県、山形県のIMや創業支援者を対象とした、三県合同研修会をオンラインで実施。

山形・福島・宮城および東北管内のIMの取り組みを各支援機関に具体的な事例を通じ研修を行うことでIMのスキルアップを図るほか他県のIMの連携を深める。

(2) テーマ

地域間企業連携事例課題解決

(3) 参加者

①参加者 35名（宮城県15名、福島県7名、山形県11名、岩手県1名）

(4) 実施

主催：みやぎIM連携協議会、山形IM連携協議会、福島県インキュベーション施設ネットワーク協議会

共催：東北IM連携行議会

2. 開催日

①開催日 令和4年3月11日 13:30～15:30

②カリキュラム

会場	オンライン(ZOOM)		
開催時期	3月11日		
	(T/S)	実施内容	(担当、役割)
開始～終了時間	13:30～15:30		
目的	山形・福島・宮城および東北管内のIMの取り組みを各支援機関に具体的な事例を通じ研修を行うことでIMのスキルアップを図るほか他県のIMの連携を深める。		
テーマ	地域間企業連携事例課題解決		
対象者	宮城県・福島県・山形県IMほか創業支援担当者		
内容	13:30～	開会	(公財) 山形県企業振興公社
	13:30～13:35	5 挨拶	みやぎIM連携協議会 代表 斎藤方達 氏
	13:35～14:20	45 花巻市企業連携事例	(一社)ビジネスサポート花巻 花巻市起業化支援センター 専務理事兼統括コーディネーター 佐藤亮 氏
	14:20～15:20	60 尾花沢市の連携事例	①尾花沢市商工観光課企業振興室企業振興係専門員 近江秀雄 氏 尾花沢市商工観光課企業振興室企業振興係係長 大山彰 氏 ②(独行)中小企業基盤整備機構東北本部 連携支援部 連携支援課 池田教 氏
	15:20～15:30	10 質疑応答・意見交換	

・令和3年度収支決算報告

東北IM連携協議会総会ワークショップ in 仙台 収支決算 令和3年7月2日 (単位:円)

収入の部					支出の部				
No	名目	単価	員数	金額	No	名目	単価	員数	金額
1	参加費(総会)	1,000	0	0	1	会場費		1	0
2					2				
3					3				
収入合計				0	支出合計				0
差引金額									0

・会場借用料 101,200円、東北経済産業局様、から助成を受けております。

東北IM連携協議会ワークショップ in 大船渡 収支決算 令和3年12月2日～3日 (単位:円)

収入の部					支出の部				
No	名目	単価	員数	金額	No	名目	単価	員数	金額
1	リモート配信費		1	99,154	1	リモート配信費		1	99,154
2	参加費	1,000	28	28,000	2				
3					3				
収入合計				127,154	支出合計				99,154
差引金額									28,000

・会場借用料、視察用マイクロバスは大船渡市役所様にご協力頂いております。

・リモート配信費及び印刷製本は(一社)ビジネスサポート花巻様にご負担を頂いております。



令和3年度東北IM連携協議会収支決算書

(単位:円)

収入の部					支出の部				
No	名目	単価	員数	金額	No	名目	単価	員数	金額
1	前年度繰越金			55,727	1	HP更新代		一式	17,930
2	WS大船渡会費			28,000	2				
3					3				
4					4	振込手数料			660
収入合計				83,727	支出合計				18,590
差引金額									65,137

差引金額合計

65,137円は、令和4年度への繰り越しとする。

監査報告

令和3年度東北IM連携協議会の収支決算並びに関係書類について監査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和4年7月5日

監事 佐藤利雄

監事 重巣敦子

2) 第2号議案

- ・令和4年度事業計画（案）について

① ワークショップ開催事業

- ・東北IM連携協議会総会・ワークショップ in 青森 （7月7日～8日開催）
- ・東北IM連携協議会 Award・ワークショップ in 新庄 （10月20日～21日開催予定）

② 他機関との連携事業

- ・ビジネスマッチ東北2022への出展及びマッチング支援（令和4年11月10日）

③ 各県スキルアップ研修への協力

- ・青森県スキルアップ研修（年2回開催 第1回7月7日（青森市）、第2回1～2月（青森市予定）
- ・山形県福島県宮城県3県合同スキルアップ研修（8月下旬山形県）

④ 東北起業女子応援ネットワーク事業への参画と協力

- ・地域主催事業との連携やJBIAと連携して事業実施を行った「Start-up Attendant養成研修」修了生との連携事業及び「SA認定」の開始を受け、フェーズ0, 1. 支援の充実を図ると同時に、起業アテンダントとの連携支援を提案し、女性の起業支援に対する理解と普及を実施する。

⑤ IM関連情報の発信

- ・全国各地域IM連携組織の事業等について、ホームページ等を活用し会員へ情報発信を行う。
- ・メーリングリストによる情報発信

東北IM連携協議会（一般会員：136名）

メーリングリストの概要

アドレス：taim02@taim.jp 管理者：齊藤方達（石巻専修大学）

東北IM連携協議会（役員用：21名）

アドレス：touhoku-im@taim.jp 管理者：齊藤方達（石巻専修大学）

⑥ 事業計画立案や活動内容検討

- ・支援企業ビジネスマッチング事業（仮称）を検討
- ・会員の増強

⑦ その他協議会の目的に資する事業

- ・JBIA、東北経済産業局、中小企業基盤整備機構、日本立地センター等への事業協力

⑧ ワークショップ輪番について

青森（R4）⇒山形（R4）⇒秋田（R5）⇒福島（R5）⇒宮城（R6）⇒岩手（R6）

3) その他

5. その他

東北 IM 連携協議会規約

第1章 総則

第1条(名称)

本会は、「東北 IM 連携協議会」(Tohoku Association of IM . 略称「TAIM」)と称する。

第2条(目的)

本会は、会員相互の連携を図り、東北地域におけるインキュベーション活動および地域の発展に資することを目的とする。

第3条(活動)

本会は、目的達成のために以下の活動を実施する。

- 1) 情報発信及び情報共有
- 2) 会員や関係機関のネットワーク形成
- 3) 会員及び関係者のスキルアップ
- 4) その他、目的達成に資する活動

第2章 会員

第4条(種別)

本会の会員は、次のとおりをする。

- 1) 正会員：インキュベーション活動を実施する団体及び個人
- 2) 贊助会員：インキュベーション活動に関する団体及び個人
- 3) 名誉会員：幹事会が承認した団体及び個人

第5条(会員情報)

本会の会員は、連絡先を本会に届けなければならない。また、変更が生じた場合も同様とする。

第3章 会議

第6条(種別)

本会は、総会及び幹事会を開催する。

- 1) 総会は、全会員で構成する。
- 2) 総会は、年1回の定期会と必要に応じて、臨時会を幹事会が召集する。
- 3) 幹事会は、代表幹事、事務局長、幹事、監査で構成する。
- 4) 幹事会は、必要に応じて代表幹事が召集する。

第7条(議決)

会議の議決は、出席者の過半数の同意によって決し、議決内容は会員により尊重する。

第4章 組織

第8条(種別)

本会は、次の役員をおくことができる。

- 1) 代表幹事及び事務局長(各 1 名)
- 2) 幹事 (若干名)
- 3) 監査 (若干名)

第 9 条(選出)

代表幹事及び事務局長、監査は総会において選出する。

幹事は、代表幹事が指名し、事務局長の同意を得て選任する。

第 10 条 (任期)

役員の任期は三ヵ年とし、再任を妨げない。

第 11 条 (事務局)

事務局は、事務局長の下に行う。

連絡窓口を東北経済産業局に置く。

第 12 条 (顧問・相談役)

本会の運営の助言を行うために、次の役職を招請することが出来る。

- 1) 顧問
- 2) 相談役

附則

1. 総会において、出席者の 2/3 以上の賛同のあるときに、本規約の改正・変更ができる。
2. 代表幹事が職務の執行を出来ない場合は、事務局長が監査の同意のもと職務を代行できる。
3. 実施

本規約は平成 24 年 7 月 6 日より実施する。

